

地域の味を受け継ぎ伝える 郷土料理の伝承教室

上庄ひこばえの会（代表 青木正代さん）が、地域婦人層の交流によるコミュニティの向上を目的に郷土料理の伝承教室を行なっています。この教室は、県内に残る美しい風景や伝えたい文化など熊本が誇る美しさを発信していく事業「くまもと里モンプロジェクト推進事業補助金」を受けて開催しています。

地区の老人会や子ども会が試食にくるなど、毎日にぎやかな雰囲気の中、交流を深めています。



熱心に料理を学ぶ参加者

想像力と美しい日本語を身につける 九州朗読コンクール

12月7日、福岡市で開催された九州朗読コンクールで、合志南小学校4年生の宮本大輝くん（泉ヶ丘）が最優秀賞にあたる「お話アカデミーキッズ」、南ヶ丘小学校2年生の松永幸丸くん（沖野台）が奨励賞を受賞しました。

九州・沖縄と山口、各県の予選会1,500人の中から代表に選ばれた27人の小学生が、文学作品の朗読と詩の暗唱を披露し朗読の技術を競いました。



受賞の報告に訪れた宮本くん（左）と松永くん（右）

合志バイオX 堆肥共励会で熊本県知事賞を受賞

11月27日、平成25年度熊本県堆肥共励会が開催され、出品された132の堆肥の中で、農事組合法人合志バイオXが熊本県知事賞（大賞）を受賞しました。

また、同組合の緒方幸代さんが、良質な堆肥の生産や利用について科学的知識があるとして「たい肥の達人」に認定されました。

この堆肥は、合志バイオXやユーパレス弁天で販売しています。



左から合志バイオX組合長の長野さんと緒方さん

合志市体育協会 体育功労者表彰

10月12日、ヴィーブルで開催した合志市スポーツフェスティバルで、各種目競技の振興と発展に功績のあった人に対する表彰式を行ないました。

●体育功労者

- 市卓球協会 久保山安英さん（黒石原）
- 市歩こう会 宇藤 功さん（須屋）
- 市歩こう会 高宮 関親さん（上須屋）



表彰を受ける高宮さん（左）と宇藤さん（右） 久保山さん

進撃！巨人中学校の著者 漫画家 中川沙樹さんから寄附

12月17日、本市出身の漫画家中川沙樹さんから、合志市応援寄附金（ふるさと納税）として寄附がありました。当日は、お父さんの中川直広さん（下町）が代理で、市長に寄附金を渡しました。

中川沙樹さんは、別冊少年マガジンに「進撃！巨人中学校」を連載中で単行本も発行しています。

いただいた寄附金は、魅力あるまちづくりのために有効に活用します。



寄附金を市長に渡す中川さん（左）

育てよう 人のぬくもりあふれる合志市 人権フェスティバル

12月7日、ヴィーブルで第8回人権フェスティバルを開催し約1,200人が参加しました。

人権標語・ポスターの表彰の後、小羊保育園の手話を使った歌やダンス、南ヶ丘小学校による構成詩「ナガサキ」の発表がありました。

また、落語家の露の新治さんが、笑いを交えながら人を思いやることの大切さについて講演し、参加者は熱心に耳を傾け、人権の大切さを学んでいました。



笑いあり 露の新治さんの講演

合志農業活力プロジェクト 太陽光発電所建設地鎮祭

12月4日、自然電力ファーム㈱、熊本製粉㈱と市が設立した合志農業活力プロジェクト合同会社が太陽光発電所建設の地鎮祭を行ないました。

このプロジェクトは、農林水産省のモデル事業として助成金を受け実施するもので、売電収入の5%以上を地域農業振興に還元することになっています。上庄区の建設地に約1,000キロワットの発電施設を建設し、年間約4,000万円の売電収入を見込んでいます。



再生可能エネルギーを活用した地域農業振興策として合志モデルを全国に発信したいと述べる自然電力ファーム㈱磯野代表取締役

合志1300年の歴史を学び地域の魅力再発見 竹迫地区探訪ツアー

11月24日、合志市地域づくりネットワークが地域の魅力を見つめ直し、これからの地域づくりに生かそうと竹迫地区の探訪ツアーを開催しました。

参加者は、移築約100年になる蔵（竹迫下町）で市郷土・歴史資料館の齋藤富士男館長の講話を聞き、竹迫地区の歴史・まちなみ散策を行ないました。また、会員で作った郷土料理を囲んで交流を行ない、地域の魅力を再発見することができました。



郷土料理が振る舞われた昼食会